

4月から後期高齢者保険料 値上げ!

制度導入以来、保険料は約2倍に

2年に一度見直し 際限なく値上げ

後期高齢者医療保険料(75歳以上対象)が4月から大幅に値上げされます。同保険料は2年に一度見直しされますが、左表のように均等割・所得割ともに値上げされます。加えて新年度から新たに同保険料に「子ども・子育て支援分」が加わり、大きな負担増となります。年金が実質引き下げられる中で保険料の値上げは、高齢者にとって大きな打撃です。

制度導入は2008年	保険料率		平均一人当たり保険料	
	均等割	所得割		
1期	2008~2009年度	38,175円	6.85%	4,614円
2期	2010~2011年度	38,645円	7.18%	4,671円
3期	2012~2013年度	41,704円	8.12%	5,180円
4期	2014~2015年度	44,886円	8.73%	5,443円
5期	2016~2017年度	45,242円	8.94%	5,657円
6期	2018~2019年度	43,727円	8.26%	5,688円
7期	2020~2021年度	45,512円	8.70%	6,136円
8期	2022~2023年度	46,160円	8.70%	6,168円
9期	2024~2025年度	48,604円	9.56%	6,815円
10期	2026~2027年度	55,380円	10.13%	8,051円

+

新たに加算されます

- ①1340円/年額1人(定額)
- ②所得割0.25% ※月平均184円

自公政権(当時)が、子育て支援財源を、こともあろうに高齢者医療保険料に求めたもの。前代未聞の悪制度で批判高まる。

後期高齢者医療保険料

度が導入されたのは、20

08年(平成20年)です。

75歳以上になったら強制

的に移行させられる保険

制度は世界でも稀です。

保険料は、原則年金天引

きで、発足当時から共産

党市議団は「高齢者が増

え、医療費が増えると、保

険料が際限なく値上げと

なる」と問題を指摘し

てきました。この18年間

をみると、指摘通りの状

況となっています。

均等割は制度発足当

初、38175円だった

均等割額は、第10期(令

和8年度)から、5538

0円に、1.45倍にもなっ

ています。また所得割も

発足当初6.85%から

10.13%の値上げになり

ます。負担限度額も発足

当初50万円から第10期

では85万円に値上げさ

れます。

世代分断あり、

「子ども・子育て支

援金」を保険料か

ら徴収

しかも新年度からは、後

期高齢者医療保険料から

「子ども・子育て支援分」

として、新たな負担が加

えられます。一律134

0円+所得割0.25%、

限度額21000円とな

ります。それでなくとも

暮らしが大変な年金暮ら

しの高齢者に、国の責任

を放棄し、負担増をさせ

ることは深刻な問題で

す。令和7年度に国保税

が大幅値上げ。さらに令

和9年度に再度値上げを

計画しています。こんな

負担増は許されません。



定例市議会始まる(2月26日~3月25日)



2月定例市議会は26日から開催されました。令和8年度の市当初予算が提案されました。共産党市議団は暮らしが大変な時、市民の暮らしと営業守る市政実現へがんばります。

代表質問や一般質問で、野洲駅前開発、公共交通(おのりやす)、水道料金値上げなど質問します。みなさんのご意見やご要望をお寄せください。

3月6日から本会議での議案質疑と代表質問・一般質問(午前9時から)

共産党市議団は野並議員が代表質問、工藤議員が一般質問を行います。代表質問は6日~9日(土・日曜日除く)、一般質問は9日~11日です。傍聴にお越しください。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2026年3月1日 No.602

市政・市議会へ
ご意見ご要望を
お寄せください

工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索